

## 平成 27 年度 第 5 回福岡県助産師会スキルアップ研修会実施報告

### 「開業助産師のお産の現場から」 ～妊婦を安産に導くための支援～

講師：しづや助産院 院長 澁谷貴子 助産師

「この助産師がいたから、ここで産むという人が減ってきた」という先生の冒頭のお言葉は、参加したどの助産師の心にも刺さり、また、「このままではいけない」という思いを奮起させたのではないのでしょうか。

講師の澁谷貴子先生は、16年間の大学病院勤務を経て、助産院を開業され、今年で11年を迎えられました。大学病院で様々な経験をしてこられた先生だからこそ、先生の1つ1つのお言葉は、病院や診療所で勤務する中で悩む助産師の皆さんの心に響いたのだと思います。

今回講義をして頂いた、妊婦とかかわる姿勢、妊婦を決して否定せず愛をもって接することの大切さ、胎内環境を整えるための保健指導の在り方などの内容には、基本的な項目の中に先生がこれまでの実践の中で見出されたわざや観察ポイント、助産診断を根拠も含めてお話ししてくださり、すぐに活用したくなるような内容ばかりでした。特に助産師が悩む保健指導については、事例を用いて細やかな指導ポイントの説明があり、参加者たちは、自身の助産業務を振り返るとともに、“勤務助産師でもできる”という手応えを得たのではないのでしょうか。

先生は開業を目指した時に勤務と子育ての合間を縫って、ベテラン開業助産師の先生のところへ足繁く通われたそうです。その中で学ばれた「お産への尊敬の念」は先生の助産観にも大きく表れています。今回の講義でも、愛ある助産師が愛あるケアを行えば、母親は子どもを愛し、豊かな育児へとつながることを語ってくださり、「愛ある助産師」として妊婦や家族、お産に向き合う姿勢の大切さを教えてくださいました。

そして、「技術を編み出し、伝承していくことが大切であること」、「それぞれの助産師がそれぞれの技術者になればいいこと」、「あなたの手は私の手ではない」というお言葉は、参加した助産師にやる気や自信を与え、これからの助産師としての道を明るく照らす道しるべになったように感じます。愛あふれる講義をありがとうございました。



(文責；教育委員 仲道)